



# ひがし野

教育目標  
真理(まこと)を求める生徒  
情操(こころ)を深める生徒  
身体(からだ)を鍛える生徒

高め合い 磨き合い 感動し合い「愛」いっぱいの真岡東中

平成31年2月発行

真岡市立真岡東中学校 Tel.82-2535 真岡東中学校HPでもご覧いただけます

## 校長室から

### <2月・如月・February>

3日は「節分」、4日は「立春」…まだまだ厳しい寒さが続いています。しかし、早春の息吹を徐々に感じ、春の足音は確実に聞こえてきています。

本年度も残すところ2か月…生徒たちは「ま・と・め」の学期として、1年間を振り返り、これまでの成果と課題をもとに来年度に向けての準備に入っています。特に、3年生はいよいよ進路決定へ向けて大詰めを迎えています。健康に留意しながら、より一層勉学に励んでほしいと思います。

### 「立志式」：2月1日(金)～立志式を迎えた2年生へ寄せて～

立志式は、14歳(数えて15歳)の節目に当たり、次代を担う若者としての使命を自覚させ、高い理想をもって自分の未来を切り拓いていこうとする自主・自立の心を育てることを目的として実施するものです。将来に向かって志を立て、その志を達成するため自らが責任を自覚し努力していくこと…それはとりもなおさず、ご家族や先生方に教え導かれていた自分から、自分で考え自分で判断しなければならなくなる機会が増え、その判断には責任が伴うことを意味しています。



マイ・チャレンジ体験活動から

**名人・プロフェッショナル**…「名人」とか「プロフェッショナル」と言われる職業人がいますが、意外にも「始めから希望する職業ではなかった、好きな仕事ではなかった」という声を聞きます。しかし、一方で「少しずつ好きになっていったからこそ現在がある。どんな職業、どんな仕事に就いても、職業人として誇りをもってその仕事を好きになること、周囲の人たちに喜んでもらえる仕事をするのが大切だ」とも話しています。

自分が希望する職業かどうかでなく、その職業に就いてどう周囲の人たちのためになるか、どんな生き方をするのか、中身が大切だと…これが名人と言われる所以かもしれません。

**国境なき医師団**…地震のような自然災害、戦争・紛争、感染症の大流行など、多くの人命が危険にさらされる緊急事態に対応する高度な専門性をもつ医療チームがあります。すぐに患者の治療や医療物資の提供、飲用水の供給支援等を行う「国境なき医師団緊急チーム」で、中立・独立・公平な立場で医療・人道援助活動を行う民間・非営利の国際団体＝NPOです。1992年には日本にも事務局ができ、医療や救援が必要な国で人命救助の活動をし、1999年にノーベル平和賞を受賞しています。

世の中には本当に「命をかけて人命を救おう」とする人たちがいるのです。「国境なき医師団」は、緊急事態が起こっている場所へ出向くわけですから、危険を伴う仕事も多く、手術や治療も長時間にわたるので、当然ストレスがたまりやすい仕事です。しかも、とても安い給料・報酬で仕事をしているのです。では、なぜそのような場所で仕事をしようとするのでしょうか。

ある人は「外科医としても緊急医療援助に役立つ技術を取得したいため」と。またある人は「現地の文化や人々と触れ合い、国際的な感覚を身に付けるため」とか「同じ志を持つ世界中の素晴らしい仲間と仕事をしてみたかったから」と。「人命救助に全力を尽くす」…この志を持つ人たちもまた、名人・プロフェッショナルと言える人たちです。

君たちは、これから進学や職業選択など様々な人生の岐路で困難や壁に突き当たることでしょう。そんな時、自分の中にある可能性を信じて挑戦し努力し続け、それによって自分を大きく成長させ、社会の中で自分は何が出来るのか、自分がどう周囲の人たちのお世話をする側になっていくかをしっかり考えてほしい。それが立志になると考えます。社会へ目を向け未来を切り拓き、人生の「名人・プロフェッショナル」へと成長することを期待しています。